

EBPM (データ分析・活用) 研修

～エビデンス(データ・合理的根拠)に基づく政策形成能力を身につける～

✎ 研修の目的

情報活用の流れに沿って、情報収集・活用のポイントを習得する。EBPMの現状・動向について学ぶ。データを読み取る力を身につけ、データリテラシーを向上させる。

👤 講師・所属

新岡 達也 (株)インソース

📋 研修のねらい・概要

これまでの日本における政策形成は、「過去のエピソード(体験)」に基づいたものであり、実行性に欠けるのではないか、という課題があった。そのような背景もあり、エビデンス(データ・合理的根拠)に基づく政策立案の推進=EBPM(Evidence-based Policy Making)が今、求められている。そこで、本研修では EBPM の実現に向けて、まずは情報活用・データ分析の基礎スキルを習得する。

👤 研修内容

1. 概要説明
2. 情報とは何か
3. 情報活用の流れ
4. 仮説を立てる
5. 情報を収集する
6. データリテラシーを向上させる
7. まとめ

📢 受講者の声(令和5年度)

- ・今後の政策立案に有益な研修だった
- ・EBPM について基礎的な第一歩を学べた
- ・講師の経験談を踏まえた説明で理解しやすかった
- ・複雑なデータ分析の話かと思っていたが、身近な情報や事柄を踏まえた研修で、実務にすぐに役立てることができる内容だと感じた
- ・研修で学んだ手法や概念を取り入れて、より精度の高い分析、データ作成、課題抽出をしていきたいと思った
- ・EBPM とは聞きなれないものであったが、行政の施策の問題点の抽出や課題解決には有用だと思うため、職場で共有したい



👉 関連研修

政策形成講座